

認知症施策 国・県の動向

I. 認知症総合戦略推進事業

【概要】

認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）に基づき、適時適切な医療介護等の提供、若年性認知症施策の強化、認知症高齢者等にやさしい地域づくりの推進等各種施策を進める必要がある。そのため下記事業内容を取り組み認知症の人やその家族が安心して住み続けられる地域づくりを推進する。

【事業内容】

1. 先駆的な取組の共有や、広域での連携体制の構築（主な事業内容）
 - ・広域の見守りネットワークの構築
 - ・専門職等派遣による初期集中チームや地域支援推進員の活動支援
 - ・認知症医療と介護の連携の枠組み構築 等
2. 認知症の人や家族が気軽に相談できる体制の構築、認知症の理解の促進
3. 若年性認知症の人の状態やライフステージに応じた適切な支援
 - ・若年性認知症支援コーディネーター支援や相談窓口の設置の拡充
 - ・若年性認知症の人の社会参加活動の推進
4. 認知症本人のピア活動の推進
5. 認知症の人等の支援ニーズに認知症サポーター等をつなげる仕組み（オレンジリンク（仮称））の構築

II. 認知症本人や家族に対する診断直後等の早期の円滑な支援について

【愛知県事業】

事業	ピアサポート活動支援事業	認知症サポーター等活動促進事業 （オレンジリンク）
目的	認知症本人のピア活動の推進を図り、当事者が相談等に応じることにより、診断直後からの精神的な不安の軽減を図る。	認知症の人等の支援ニーズに認知症サポーター等をつなげる仕組み（オレンジリンク）の構築により、インフォーマルサービスとして、診断直後から利用者のニーズに応じたサービスの利用を可能にする。
実施者	認知症ご本人で、ピア活動への意欲がある人	地域の認知症サポーター
対象者	診断直後等今後の生活に不安となっている者や認知症の受容が出来ない家族	認知症の診断を受けた者で、介護保険等の公的なサービスまでは必要ないが、見守りや手助けといった生活支援が必要な者
事業内容	地域包括支援センターや医療機関等で、認知症本人が自身の経験を踏まえ対象者の相談等を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・外出支援やボランティア訪問等による日常生活上の簡易な困りごとに対応する支援を行う。 ・対象者に必要な窓口の紹介や、支援のつなぎを行う。